

二袋のまゝ左手に握む名劍正宗

萬圓の養錢

箱こはを開ひらく事ことにななり居ゐれるが本年しんねん

製糸場に
てうせん
なんな

二信州の諏訪へ

愛がさしく乗込み岡谷を中心とし

◆二萬と註され此がため鐵

六製絲場では朝鮮より工女三十名

◇朝鮮ちやうせんの婦女ふにょを製絲工女せいしこうにょとよ

同地方の事として成績如何に依つて

鯨魚獲

十一月夕刻元山水産會社虎島の土

圖にて取引済たり(元山特電)

強盜團

大正五年の春頃より忠清南道大田

の被害あるも犯人は常に巧みに隠

何れも

二節七十七銀六錢七錢六銀五錢

五

第二節 二千二百七十五一四

三、
四、

西山傳天、久沼直子、聖谷秀三郎、岡きみ

一、



▲用紙は端書又



曇一時晴

五時五十二分
七時五十五分

△甲限一節二十三圓一十錢二節十錢一錢五錢平均値十三錢四節八錢十一錢八錢十一錢平均値十錢△先限一節二十二圓七十五錢六錢二節四錢三錢五錢六錢五錢六錢

三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一																																																																																					
一百一十七	一百一十六	一百一十五	一百一十四	一百一十三	一百一十二	一百一十一	一百一十	一百零九	一百零八	一百零七	一百零六	一百零五	一百零四	一百零三	一百零二	一百零一	一百	九十九	九十八	九十七	九十六	九十五	九十四	九十三	九十二	九十一	九十	八十九	八十八	八十七	八十六	八十五	八十四	八十三	八十二	八十一	八十	七十九	七十八	七十七	七十六	七十五	七十四	七十三	七十二	七十一	七十	六十九	六十八	六十七	六十六	六十五	六十四	六十三	六十二	六十一	六十	五十九	五十八	五十七	五十六	五十五	五十四	五十三	五十二	五十一	五十	四十九	四十八	四十七	四十六	四十五	四十四	四十三	四十二	四十一	四十	三十九	三十八	三十七	三十六	三十五	三十四	三十三	三十二	三十一	三十	二十九	二十八	二十七	二十六	二十五	二十四	二十三	二十二	二十一	二十	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一

金山入港博愛丸二名客
等十一名在船艙男壯元四川正三郎、
張茂三郎、追問房太郎、小口重太郎、外人
八名
等四十四名多田次平、健島勇夫、由佐敏
二、有

午後入港登鼓丸一二等客
 (姓名)吉川元治、山田榮次郎、同やす子
 市、同さし、外人三名

10

「『聖さばかりになるものは、主日、お前を 慰さかけて』」	十四日	十五日	表
「山崎鳴引」	十五日	十六日	見
「『短夜は』」	十六日	十七日	但
「金魚」	十七日	十八日	京

一週間に以て内には剽竊又は同案犯者には五十錢書籍券を呈す
何號と明記に限る ▲宛名に


 城氏 七十五
 前日 七十七
 七十七

[illegible]

吸收率並に眞の養料が確實に査定
 されたるものに至つては其確決し
 て多くはない
 ●在郷將校も
 日進進ができる
 陸軍の召集延期改正の結果
 過期陸軍の召集延期が改正されて
 在郷將校も動轉召集として召集
 せらるる様になつた之れと共に在郷
 京城日開愛護諸君のため義に第
 一警察總長到着し條員が爲に多
 廿日の締切期には目
 續々答案を寄せら

[illegible]

望者は住所職業姓名に生年月日を記入し作便書封套にて申込むべし

りんごの物初 黄身の赤りんご本産作
りんごは、してて、選りばれ、其に
及び、彼等なく、船中の天候を船中に
なれば、の、より、は、上、知、中、現、はる

大森二通

北鮮の漁況

◆鱈魚漁 木崎清津近海の鰯、
明太魚漁業は非常なる不漁なりと
爲め漁業者は豫期に反し多大の打
撃を蒙りたるが四月下旬來鰯漁は
空前の大漁にて約二萬餘尾の漁獲
あり、右の鰯の大豊漁より既に五
六丁の水揚げせられたるものも

○大切な服の病
病氣も種々の病であるが、一番害
に難いのは眼の病である。味
道しも痛く見易いのはほせ眼か
星眼といつて黒目のまじりの
病、それから俗に言ふものゝ
疳眼、つまり目等であつて、殊に危
うなのはトラホームである。眼病
をつたからと言つて間に合せの
薬を塗ける見ても一向利目がなく
常に困る人には、最も奏効のやう
な養生法を教へよう、是は外で
ない直治水を用ふる事である。
□非常な喜び

近江腰によく効く自藥に出合つ

救生館

救急の全快あり速に手一廻試み其
 救は市中區南小川

リウマチ

にてあらゆる療法効なくお困
 方には野參錢封入申込まれ
 患部に治る神秘秘藥を御知らせ
 東京市世田谷区通野
 井原屋酒店

補血

定 價

四角	三角	二角	一角
四角五分	三角五分	二角五分	一角五分
五角	四角	三角	二角
六角	五角	四角	三角
七角	六角	五角	四角
八角	七角	六角	五角
九角	八角	七角	六角
一元	九角	八角	七角
一元二角	一元	九角	八角
一元五角	一元二角	一元	九角
二元	一元五角	一元二角	一元
二元五角	二元	一元五角	一元二角
三元	二元五角	二元	一元五角
三元五角	三元	二元五角	二元
四元	三元五角	三元	二元五角
四元五角	四元	三元五角	三元
五元	四元五角	四元	三元五角
五元五角	五元	四元五角	四元
六元	五元五角	五元	四元五角
六元五角	六元	五元五角	五元
七元	六元五角	六元	五元五角
七元五角	七元	六元五角	六元
八元	七元五角	七元	六元五角
八元五角	八元	七元五角	七元
九元	八元五角	八元	七元五角
九元五角	九元	八元五角	八元
十元	九元五角	九元	八元五角

井原屋酒店

水の滴るような
美つくりしい

名譽大金牌
専賣 東京
持許 日本
有 功 之 至 水 合 併 法 也 行 は れ 生 産
カキ 等 類 手 體 に 治 癒 大 京 京 橋 本
力キ 止 込 部 門 書 大 京 京 橋 本
無 代 星 進 他 之 修 勞 京 都 市 局 九 須
比 較 希 希 京 城 本 町 二

[illegible]

10

ななきやも國り難しと云ふべし、
 舟流行の爲め一時荷役苦
 不足を來し給上にも支障
 其後漸次良好にして現
 んで復舊し居れりと云ふ
 東浦線により長春驛に來
 數の特産物は何れも雨水
 萌芽を來し其損害實に莫
 少くも全部の二割以上な
 ふが此は長春驛に來着す
 於て承らくの停滯と降雷の

又た三千萬圓

◆三菱製鐵所の増設説◆
大正三年來三千萬圓を投じて製鐵鋼及及び附屬事業たるコークス硫酸等の製造工場建設中の三菱製鐵所は今更に三千萬圓を増設するの第二期附近山嶺に大規模の製鐵板工場を新設すべしと説あり夫れから先月米よ一同社長原田鏡治、堀尾敬等の諸月餘に渡りて浦佐に梅野所長其の幹部連と連日凝議しつゝあり云へば或は此の風説は事實に非やといふものあり(第三回)

第一回の紙上を探すが、斯の如き際、更に第二回の紙上を行ふことゝ致し、近く發表する事に事に決定しましたから、讀々答案を、因に第一回の締切は来る二十日、で前回よりズミ多く、第二回目の紙上、將校中、我々の心の中に、して將校中の演習及び勤務演習に際して、奮勵し其成績優秀のものは、特に升進せしめらるゝことになつた四十の版を越した少中尉、も前途有望と

外の歓迎を受けましたから
 じやう たのしみ
上寶探を
 成りました。そこで今度の
 賞探は賞品を
 て花々しく催す
 せせせれんと希望します
 亥は七月三日の紙上です。
 下の段では頗る好況かと如し
 又股割合の案に京期飲の
 するの別別の名も況一際
 て金舞。櫻井に城月セリ須南浦

十萬尾以上に達し此勢を以て推
す時は本春の同漁獲高は百萬尾を
超過すべき状況なるが尙ほ近く聞
知せざるべき鯨漁も大漁あるべき
豫想せるを以て状況を呈し來れり
●鯨漁季 鯨地地方は昨今漸く
鯨漁期に入り五月末未半は漁獲
りまた大漁獲なるも當業者は豊漁
を見込みて夫れ「運船中」にあり
而して本年は梨江以北に於ける船
數を三十と制限されたるも多數の
漁業者は清津近海に徙漁せん
見込みなるを以て隨て清津近海の
同漁は非常の盛況を見るなるべし

●鯨漁 五月二十五日の兩
日に互て城津灣に鯨の大群押し

諸ものは斯ふ思ふ薬が、近頃盛
 に病者を用ひられ、今迄悩ん
 へた邊の間に、非常な喜を以て
 人々達の間へ、その新しい眼
 は直治水と言ふ。
 □的確な初驗
 故に此眼薬は直治水が然うよ
 かり、専門的に説明すれば中々
 かしが、解り易く言へば第一
 製剤が非常に鄭重である。西
 模範的に秘されて、丹毒、藥
 事攻藥學者達が多年の實驗と
 から苦心研鑽の結果、最新陰
 上の發見薬を基礎として、最も
 果ある三の補薬を配伍して、微
 量の下のに調劑した完全な
 眼薬である。殊に藥性は完
 なる殺菌消毒を行ひ且つ腐蝕せ

朝鮮勸農商會

釜山本町二

朝「義實元

蠶卵臺紙


強壯

京城卅治町一丁目

電話一九四八番

振替京城三七五三番





小兒科
呼吸器病
胃腸病
喘息
リユマチス

京城本町三丁目

内科
呼吸器病
胃腸病
喘息
リユマチス

京城本町三丁目

せいの
 東京高水
 日本興業

御使用遊ばされる
 本品を
 最もよく毛髪の
 爲めに
 最も優ぐれて
 良き油
 東京
 本舖
 非善

山田病院
院主 山田萬作
〒五番地 電話二八八〇番
源寺一
之町八
助四七
日八
廿

日本

本邦人
（上）

「三ツツテンデン博士曰く、
なる不可思議として歎ふべき
第一は生長の力であるが、
して未だ若て動盪を招かず。
發育を遂げ以てその構造に
作用に於ても兩ながら自然然
無く本来の有體態を完成せし
止まれ、其二は飛躍すべき

營養問題を解せず
博士 佐伯 矩氏談

有するは營養問題に若くは無
營養の問題に多量たる富の生
成者の研究に放任して顧みざる
如きは國家並に民族の衰微を
とするものゝ爲に取らざる所す
る、殊に歐米に於て甚だしくも一
に放棄し、徒に歐風の吹來にそ
せたる現代の日本に於て特にそ
然を覺ゆる惟よに日本食品の
分析、日本食品の吸收成分比

朝鮮製絲會社大邱製絲工場の概況
一萬餘坪は其後次第進捗して既に
約九千坪の工費を了したれば遠か
らして全部の解決を見る見込が
出なるとは位置は東亞製絲會社所
前より約五丁に方る道路の北側
にして工事は本月より起工の筈な
りしと買収行々振ふたる爲め遅延
したるも近く着手の運びに至るべ
き本年の設備は三百餘なるも一昨
年中には千餘に擴張の計畫なり
と云ふ

●**平南地方作況**●

各地に於ける本年農作物狀況、概して一好成績なり。大豆、粟、水稻は前調、中和江西諸縣は既に移植を完成せり。文蛤等は亦佳。粟の良好にして本年は作付、價加と相俟つて豫想上の收穫に達し豫想されつゝあり、然し秋の暴作には比較的不良にして、殊に秋の一割の減作なるも其他他種作物は害蟲も發生せず目下作物は至極よく生長して差支へなかる可成りとす。

[illegible]

るから、眼液が變化したり、腐敗する。眼は絶對にないのである。又、治水には従来の點眼藥の如き麻酔性の藥物が含まれてゐないか、作用として、常用した爲に他害を起し、上ノ事はないのである。

「瀉と眼の關係」

に「眼病と言つて多種あるが、上に述べた眼病はいづれも直治水に適確な効果がある。」併し注意すべきは、瀉の悪い人は眼が疲弱し易いものであるが或る瀉に運れた瀉の病が或る瀉の病に運れたといふ事がある。故に瀉の悪い人の

[illegible]

安住加

信房生産

「代表」

製品種類左の通り
 内地向
 美製紙函
 湯呑形大
 十二巻入金
 三時間持金

懷中
要藥

北丹

大衛
たん
坂町

八錢
 子莖
 最優品
 三第丁
 可田省區北阪大
 房藥大住安

生を通じて豊くも休む事
能力を保持せしめる、然
き驚くべき身體の能力な
頁に第三不可思議の存す
る、
開は其の生命の續く
續ては微妙に進行せる
に外ならぬ、即ち身體温
及び理學的動作の力を保
エネルギーの發動を件と
的變化、分解變化の現象
而して是等の三大不可
即ち養育の目的を構成す
人生に、その生活の上に
子孫の上に最も痛切の關係

◆營養問題解決の◆
 ◆基礎を爲すべき◆
 重要事項であつて國家は率先して之が開明に力を致さなければならぬ。從來日本に在りて少くも醫學に密接して營養を論ずるもの毎にその唯一の論議たるべかりし日本食品の分析は主として往來原土が内務省衛生試験所にて行ひしものに係りけり。他一二の者にとすべきものもある。分析法の精微いものと分析數の餘りに單一なるに於て實際の上にて供へんとす

◆**平南春蠶豫想**
本年平南に於ける春蠶豫想調査に依れば掃蚕時数は五月初めより五月二十五日に終りたるが原組は豫想は五萬四千六百八十六枚に對して發育良好なりと然しなから桑葉伸長成育は良好ならず且不足の見込なりと收豫想額は一萬三千六百七十一石にして前年に比較すれば掃蚕數に於て一萬六百八十八枚を増し收額に於て二千三百十五石を増す豫定なりと豫想

◆用公回六第◆
 ◆標校の染血劇悲派新◆
◆密秘のラミ◆
 日時六月十
 京日
 劇場入引劇 一等世間
 二部止終
 東京十通
 助阪下なる兒童研究所に於て
 月五日より十日迄第三回見

第四十號
 第三十二號
 第三十五號
 讀者優待
 割引券
 活動黃金館
 寫真
 (一枚二人共通)
 より十三日迄午後六時開場
 京城日報社
 仁川、平壤、新州に連ねて
 新報は一時開つての代に
 新報社に送つてお
 かな。いそがしき新報社の活動新報社

證明された精神薬、健腦丸を
 ひとと俱に一方眼に注意して直
 全の策である
 〇用ある二大適藥
 藥として誠に的確な効ある、
 藥、腦病を治して幾多の患者
 驗して其効効を實せられ、
 たる盛名ある健腦丸は俱に丹
 商會の製劑で本店は大坂心管橋
 目屋、分店は東京日本橋區明
 遠海外の信用ある藥舖に次々
 ある直治水は四十錢半、健腦
 は一週分七十錢より十週分五
 種々ある。速に家庭に常備せ
 るに尤も必要である

最も簡単にて實益を
 得るに當る方法にて
 各種式現物販賣
 營業所内物販賣
 大連市三光町三九
 滿鮮警察附株式會社
 電話二二二番
 京城府川治町二
 滿鮮警察附株式會社
 同出張所 川宮町
 林券の手續に實する

五十種、村上唯吉其著
 價十五錢
 郵稅二錢
 平河堀屋發行三〇〇番
 日印代理店

登錄商標

猪印

線香

全 小 十二個裝
大 小 十二個裝
金

輸出品

美裝紙函 新裝特許標
十二把入及
過卷形 大中小三

此出品是英支南
印所牙印度向の數種
註文の節御指定を請



入附

ひ及店繰の旋る到
す貴殿にて屋物鼠

悟道軒圓玉口演

[illegible][illegible][illegible]

本年流行の夏帽子
東洋本 パナマ

景品附破天荒の賣出

東洋本パナマ帽は、最近高價騰貴を流
行形全部手編みである。以て冠り心地良
く紳士向に適す本品は十圓以上の
舶來品に遜色なく故に市價五圓以上
の販賣せる優良品を今回
製造元たる大阪東洋本所
を通じて大衆の惠賜する
爲め本會社（長崎日産會）一〇七、六
號限り塗料金甲標三圓
乙二圓半と云ふ額以下で賣出
し紀念の爲最廉とせしメッキの
如にて真正の本金新デザイン指
輪サタチを一個進呈す由なれ
ば希望者は頭のインチを記し此好
機を逃せず申込られ固に此帽子は
機械織の如き物でなく眞實の手編
である代金引洗滌も出来る上等品増
加したる故に知つず時勢が變じに神
々しく流行する此染の模樣は全四卷



日本興業株式会社
長崎日産會

健胃劑



効 主

悪心 胸痞	悪酔 宿酔	胃腸 力タル	飲過 食過	溜飲 吐瀉	食もた れ	消化 不良
社	倉	式	株	藥	製	星



高貴御用品の内

美顔クリーム



非常なる人氣を博したる學者の新創製品

御内意によりて創製したる美顔クリーク

内意を蒙つて創製したる、名譽あるクリームであります。

殊の外御意に適つた二箇條

御意に適ったクリームであります。

ホニ理想のクリーム
 3はこんなもの

違つてゐる美顔クリームには少しのネバリ氣もなく、サ

「ムごはこんなものかとお思ひになります。それに配合

桃谷研究試験所自慢の製品

成程なるほどこれは良いクリームであるご、ハツキリお分おんぶんりになります。

桃谷順天館

大阪市西區靉南通二丁目（電話土佐堀六四七・六四八番）

1. The first part of the document is a title page. It contains the title of the document, the author's name, and the date of the document.

寫眞

寫真出張撮影
宮眞鏡版
最新式の照像機を用いて、最も正確に人物を撮影し、その写真を複製して、各種の用途に利用可能。速く、正確、切實、且つ、高品質の複製品を提供する。

京城日報社寫眞製版部

七日月鏡と金色白なるゲリノ夜

今東京で大評判の元素液色黒く顔赤日ヤケおるいヤケアシな防ぎキもコマカに眞色白く美人美男子たるは迄明透料内地八絳澤鮮州鐵臺華什世 東京神田區丸の内本町の榮小間物化粧品店より近所上品の時切手代用御送附されは迄明透料内地八絳澤鮮州鐵臺華什世 東京神田區丸の内本町の榮

四十二川一編

を脱出し居れば西伯利を顧み
かる可し日本としては成可

業會議所の事業と別個無關係な
ものにして其の維持経費を商業會

● 廣東非常
十二日廣東にて明會の豫定なりし也

金七郎

京城衛生社

大販賣元
京城日報代理部

大販賣元
京城日報代理部



鉢物の移種 花鉢に植ゑる牛蒡や胡瓜等（夏迄入るの目録）

漢字と發音の調査

三四百圖の音韻分布圖作製
國語學の統一は大問題だ
漢字の調査 漢字の調査は、國語學の統一の大問題だ。漢字の調査は、國語學の統一の大問題だ。漢字の調査は、國語學の統一の大問題だ。

光化門行

電車運轉
十三日より
光化門行 電車運轉は、十三日より開始される。光化門行は、電車運轉の重要なルートである。

大運丸

珍島附近にて
九日午後四時
大運丸 珍島附近にて、九日午後四時に発生した。大運丸は、海上航行中の船舶である。

高田へ引渡

臨時株主會開催
高田へ引渡 臨時株主會は、高田へ引渡された。高田は、株主會の開催場所である。

沙里院の

大賭博
内地人有力者
沙里院の 大賭博は、内地人有力者の参加で行われた。大賭博は、賭博の一種である。

梅雨季

雨の降る降らぬ
問題ではない
梅雨季 雨の降る降らぬ問題は、問題ではない。梅雨季は、雨の多い季節である。

誤って毒を飲

三男が誤飲
誤って毒を飲 三男が誤って毒を飲んだ。誤って毒を飲は、誤飲の一種である。

小児が

小児が 小児が、小児の健康を維持するために注意が必要である。小児が、小児の健康を維持するために注意が必要である。

大阪毎日八十八歳を
高田へ引渡
臨時株主會開催
沙里院の
大賭博
内地人有力者
梅雨季
雨の降る降らぬ
問題ではない
誤って毒を飲
三男が誤飲
小児が

光化門行
電車運轉
十三日より
大運丸
珍島附近にて
九日午後四時
高田へ引渡
臨時株主會開催
沙里院の
大賭博
内地人有力者
梅雨季
雨の降る降らぬ
問題ではない
誤って毒を飲
三男が誤飲
小児が

漢字と發音の調査
三四百圖の音韻分布圖作製
國語學の統一は大問題だ
漢字の調査
光化門行
電車運轉
十三日より
大運丸
珍島附近にて
九日午後四時
高田へ引渡
臨時株主會開催
沙里院の
大賭博
内地人有力者
梅雨季
雨の降る降らぬ
問題ではない
誤って毒を飲
三男が誤飲
小児が

かつけ崎糖精

村井政義先生
命名實驗證明
販賣元 尾崎兄弟商會
説明書
進呈

蜂印香露葡萄酒

なるほど
美味である
滋養がある
賞讃されつゝある
よく味つて見て下さい
必ず他品の真似のできぬ
美味と滋養が見出され
毎食前一杯つゝ元氣健康を増進す

金鳥香

かとりせんこう
のみのり粉
責任付
除害剤
原産地本舗
上山英工場
大阪西區王佐堀三（電話主佐堀六二六）

「散歩かね。」と、町川は、けだるさうな眼を細めて、側に置いて金ひかの時計を一寸見ながら、「散歩したつて、何だ。」と云ふ。此の座敷から斯うして、海を見たり松原を眺めたりしてゐるが、安全第一の策として、ふもとにだらう。それよりも、吾輩が申しても、どういふ大では面白く、嫌へんで困つるんだが、時計を並してウキスキーがあるか無いかを聞いて貰いたいね。」と、町川は、杖つた上になに、ウキスキーなんぞで、

「何と驚く事はありやせんぞ。ピニアの三本や四本、は永く同様ぢやないか。ウキスキーでもオツカでても傳はんから。」

「酔ひになるのは困ひませんね。」

「まの祟りが、お座いますからね。ほ、ほ、ほ。」

「尤に、吾輩の室内が恐しい。程、幽霊のやうな影のやうな女。」

「僕が云つたので、それでそんな事を氣に爲出したんだらうが、それは、若輩、お前を道楽所、運て來たのは、眞面目にお前を精神を離かめたいと思つての事だが、お前、實際の處、他に契約し情夫とか何とか云ふやうな者は有りはせんだらうね。」

「お前さん、お酒を上ると、分お醉くなりませう事ね。そんなのは、地球大の判を捺して無い事保證致しますと、彼れ程に申し上げや御座いますんのだ。」

「驚つてだね。」

「此の座敷の眼の色を、押した時の町川の眼の色、何ゆゑのみでなく、特別に底照光つた。」

100

を掌に取^り、指先^{さき}に能^{よく}擦^すつてつけ、(標^{めい}は顔^{がん}よりも少^{すこ}し涙^{なみだ}目^めにする)、牡丹^{ぼたん}、脚毛^{きゃく毛}を白^{しろ}粉^{こな}に延^のばし、水^{みづ}脚毛^{きゃく毛}で白^{しろ}粉^{こな}を均^{ひと}らし、濃^のくもルで押^おへて白^{しろ}粉^{こな}を落^おろす可^べき。

【第四^{だい}に】お顔^{がん}にホノリと櫻^{おう}色の健康^{けんこう}色^{しき}を出すウラン顔^{がん}紅^{こう}を目^めの下^{した}か、頬^ほへかけて薄^{うす}く塗りつけ

る。【第五^{だい}に】お化粧^{けしょう}を一段^{いちだん}と引^ひ立たせるウラン粉^{こな}白^{しろ}粉^{こな}をセーム革^{せームくわ}につけて顔^{がん}、脚^{きゃく}、打^{うち}ち、髪^{かみ}はホツトに粉^{こな}白^{しろ}粉^{こな}を含^ふまえて磨^{みが}くたをセーム革^{せームくわ}で輕^{かろ}く打^{うち}ちますと、高^{たか}尚^{なほ}で美^{うつく}しい最新^{さいしん}式^{しき}のお化粧^{けしょう}が成^なります。お上^あはるのてございます。

